

第3回避難訓練

最近の火事は台所などの火を扱う場所だけでなく、冬場ならストーブを焚く部屋や電気コンセントなどからの漏電により出火することもあります。そこで、12月13日（月）に3回目の避難訓練を、パソコン室の電気系統から漏電し出火したと想定して行いました。あいにくの雨模様で、避難場所は体育館となりました。教室での避難訓練は、全校生が行ったものの、密な状態を避けるため体育館への避難訓練は、1年生から3年生のみが行いました。



体育館へ避難

南消防署の方は、『お・か・し・も・す・き』の約束を守って、行動できていたことや年々、電気器具の火災が増えていることを話してくださいました。



福井南消防署の方のお話

この後、3年生から6年生は、図工室と会議室に分かれて煙中体験をしました。部屋中に訓練用の白い煙を充満させ、その中を口にハンカチを当てて移動してみました。訓練の前に消防署の方から、姿勢を低くすること、机などの障害物にぶつからないようゆっくり移動することなどの注意点を聞いていました。



煙中体験

実際に煙の中を歩いてみると、下の方だけが何とか見える程度で、前の人と離れると全く見えない状態です。顔の前に手をかざしながら、障害物にぶつからないよう慎重に移動しました。



南消防署の方から「煙の怖さ」

子どもたちからは、「床をたどりながら、歩いているところしか見えない」「本物の煙だと死んでしまう」などの感想が聞かれました。

煙中体験の後、南消防署の方から煙の怖さについて教えていただきました。実際に火災が発生したときの煙は黒く照明もないため、目の前すら分からなくなること、煙の中では、できるだけ姿勢を低くして行動しなければならないこと、煙を吸い続けると身体が動けなくなること、これらのことを今日の訓練で身を以て学ぶことが出来ました。